

ウ. 防護具の使用

1. 使用目的

- ・湿性生体物質（血液・体液・分泌物・排泄物）による医療者の身体・衣類の汚染を防ぐ
- ・医療者の汚染を防ぐことにより、患者への媒介・伝播を防ぐ。
- ・清潔処置を行う際に、手指の微生物の伝播を防ぎ、清潔野を確保する。
- ・有害な薬剤から医療者の身体の保護。

2 使用時の注意事項

- ・防護具は湿性生体物に曝露する時、またはそれが予測される時に使用する。
- ・湿性生体物質に曝露する範囲を防護するために適切なものを選択する。
- ・複数の防護具を着出する時は、感染を防止する安全な方法で実施する。

<装着時>

手指消毒又は手洗い→エプロン→マスク→ゴーグル→手袋

<脱ぐ時>

手袋→ゴーグル→エプロン→マスク→手指消毒又は手洗い

- ・防護具は、同一患者でも異なる身体部位のケアを行う際にも交換する。
- ・防護具は、患者ごとに交換する。
- ・防護具を外す際は、汚染面に触れないようにする。
- ・感染物で汚染した防護具は、感染性廃棄物として廃棄する。

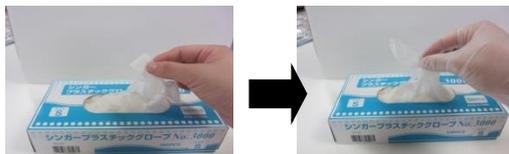
3. 手袋の使い方

- ・手指が湿性生体物質に暴露するとき、またはそれが予期される時に使用する。
- ・以下の内容に注意し、取り扱う。
 - ①汚染した手袋は、清潔操作前に新しい手袋に交換する。
 - ②ドアノブ、電話機、パソコン等の共有物に触れる場合は手袋を脱ぐ。
 - ③小さい穴でも破れがある場合は交換する
- ・手袋を装着する前後に手指衛生を行う。
- ・抗悪性腫瘍治療薬のミキシング、医療器具の洗浄、消毒時、清掃時には手袋を着用し、手指の暴露を防ぐ。
- ・着用前の手袋は、清潔に取り出す。
- ・原則一処置一手袋とする。

1) 手袋の着脱方法

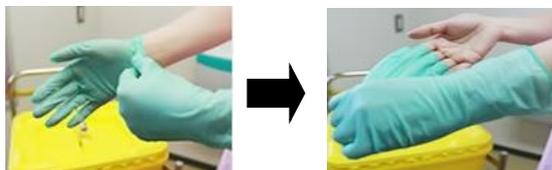
〈着け方〉

- ① 手洗いまたは擦り込み式速乾性手指消毒剤による手指消毒をする。
- ② 片方の手に手袋を装着し、手袋をつけた手で手袋を取りだし、もう片方の手袋を装着する。

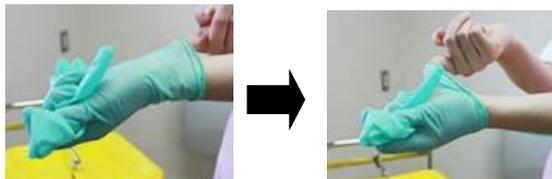


〈外し方〉

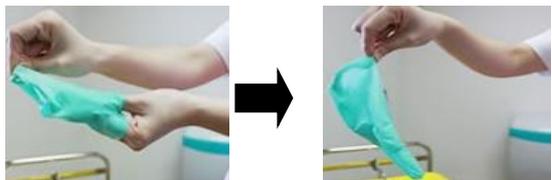
- ① 一方の手袋の袖口をつかみ、汚染された手袋の内側になるように手袋を脱ぐ。



- ② 抜いた手袋を丸めて握り、手袋をはずした手で手袋の袖口の内側に手を入れる。



- ③ 手袋をしている手を垂直に下ろし、手袋の外側が内側になるようにして手袋を脱ぐ。



- ④ 手袋を破棄した後は、手洗いもしくは擦り込み式速乾性手指消毒剤による手指消毒を行う。

4. マスクの使い方

- ・血液、体液などの湿性生体物質の飛沫により、鼻腔・口腔が曝露すると予測される場合は、マスクを着用する。
- ・職員自身が、咳・くしゃみ・鼻汁等の呼吸器症状を有する場合は、勤務中にマスクを着用する。
- ・マスクは医療従事者や患者の保護の目的で使用されるが、呼吸器症状や湿性生体物質が曝露すると予測される場合以外は不要である。過度な使用は控える。
- ・クリーンルームでのケア、開放創や広範囲の熱傷患者の処置の際に、医療従事者の唾液などが患者に飛沫するのを防ぐためにマスクを着用する。

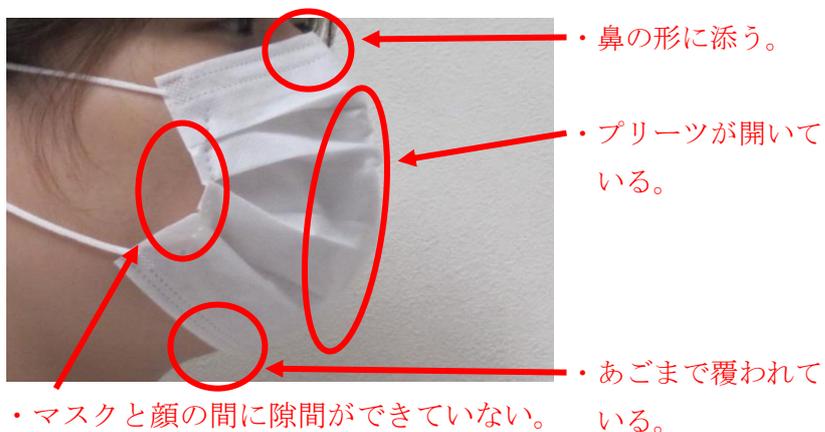
- ・マスクの交換は使用の都度使い捨てる。
- ・汚染されたマスクや感染隔離室で使用されたマスクは感染性廃棄物として処理する。

1) マスクの着脱方法

〈着け方〉

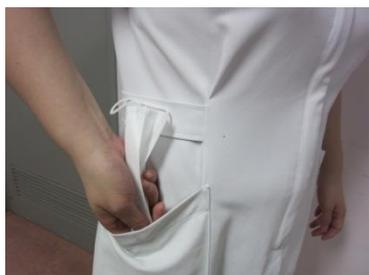
- ① 手洗いまたは擦り込み式速乾性手指消毒剤による手指消毒をする。
- ② 清潔な手でマスクを1枚取り出す。
- ③ 鼻、口、あごを覆う。
- ④ 鼻部分を鼻筋にフィットさせる。
- ⑤ ゴムひもを耳にかけて、マスクをフィットさせる。
- ⑥ 全体がフィットするように調節する。

〈正しい使用例〉



〈間違った使用方法〉

- ・ポケットにマスクを入れる。



- ・マスクが鼻を覆われていない。

- ・マスクを肘につける。



- ・あごにマスクをつける。



〈外し方〉

- ①マスクの表面を触らないように、耳のゴムひもを持ち、顔からはずす。
- ②ゴムひもの部分だけを持ち、マスクを丸めずにゴミ箱に破棄する。
- ③破棄した後は、手洗いもしくは擦り込み式速乾性手指消毒剤による手指消毒を行う。

5. エプロンの使い方

- ・血液、体液などの湿性生体物質の皮膚・衣類への接触・飛沫が予測される場合は、エプロンを着用する。
- ・エプロンは使い捨てであり、一処置に対し一枚使用し、処置後は破棄する。処置後のエプロンをつけたまま移動することは避ける。
- ・腰ひもを引きちぎった際に、勢いで菌が飛び散らないように、静かにひもをはずす。
- ・汚染されたエプロンや感染隔離室で使用されたエプロンは感染性廃棄物として処理する。

1) エプロンの装着方法

〈着け方〉

- ①手洗いまたは擦り込み式速乾性手指消毒剤による手指消毒をする。
- ②清潔な手でエプロンを1枚取り出す。
- ③エプロンを着る。

〈外し方〉

- ① 首からひもをはずす。



- ②汚染面を内側に折りたたむ。



- ③腰ひもを静かにちぎる、またはひもをほどく。



- ④ 汚染面に触れないように、できるだけ小さく丸めて捨てる。



⑤破棄した後は、手洗いもしくは擦り込み式速乾性手指消毒剤による手指消毒を行う。

平成 25 年 3 月 6 日 ICT 会作成

6. ガウンの使い方

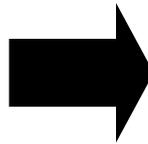
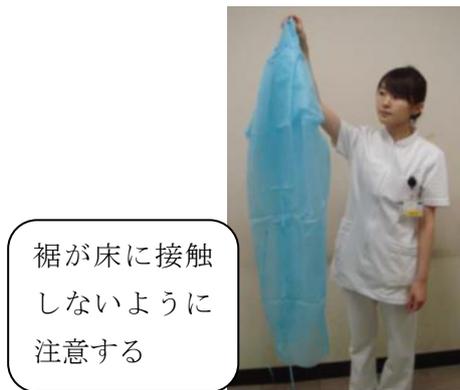
- ・伝播拡散防止のために用いる。
- ・受け持ち患者間の伝播リスク防止のために用いる

1) ガウンの着脱方法

<着け方>

①ガウンの紐を持って広げる。

②片方ずつ袖に手を通す。



③襟ひもを結ぶ。

④背中側を十分重ね合わせ腰ひもを結ぶ。



<外し方>

①手袋を外す。

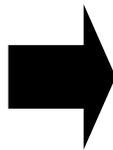
②手指衛生を実施する。

③襟ひもと腰ひもを外す。

④片方の袖の内側に手を入れて袖を抜く。



⑤反対の袖を外側からつまみ、引いて腕を抜く。⑥袖の内側から中表になるように調整する。



⑦1日1回の廃棄の場合は、袖を脱ぎきらずに内側から中表の状態ですべての場所を吊るす。

⑧廃棄する場合は、袖を脱ぎきらずに内側から中表になるように巻きあげる。



⑨廃棄する。

